

4年2組「特別の教科 道徳」学習指導略案

- 1 主題名 「正直な心で」A- (2) 正直、誠実
- 2 教材名 『正直』五十円分 (出典：光村図書「道徳4 きみがいちばんひかるとき」)
- 3 ねらいとする価値について

良心に従って正直な行動を選択することは、自分がすがすがしく、明るく生きていくためにとても大切なことである。他の誰でもない、自分自身にうそ偽りなく生きることの意義を考えさせたい。

4 本時の展開

○ねらい

おつりを多くもらったたけしが、正直におつりを返しに行く姿を通して、自分から正直に行動するために大切なことについて考えさせ、自分自身を偽ることなく、明るい心で伸び伸びと過ごそうとする心情を育てる。

	学習活動 (○発問、☆中心発問) と児童の反応 (・)	◇指導上の留意点 ※評価
導入	<p>1. これまでの自分の経験を振り返り、考える。</p> <p>○異なる状況で同じものを食べる時、どちらの方がおいしいかを考える。</p> <p>苦労して自分で育てたトマトとお店で買ったトマト お手伝いをして貯めたお金で買ったお菓子和買ってもらったお菓子</p>	<p>◇どちらの方がおいしく感じるのかを考えることで、気持ちや状況、環境などの条件によって、より食べ物がおいしく感じることもあることを整理する。</p>
	正直に行動するために、大切なことはなんでしょう。	
展開	<p>2. 『正直』五十円分」を読んで、話し合う。</p> <p>○おばちゃんから足りないおつりを返してもらったとき、たけしはどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・返してもらえてよかった。 ・損をするところだった。 ・すぐにおばちゃんに言いに行こう。 <p>○おつりが50円多いことに気が付いたとき、たけしはどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうしよう。返した方がいいのかな。 ・得をしたけど、あまり嬉しくないな。 ・このまま黙っていれば、分からないかな。 <p>☆たけしは、どんなことを考えて、50円を返しに行ったのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごまかしをする自分の姿を弟のひろしに見せたくない。 ・返さなかったら、自分が嫌な気持ちになる。 ・おっちゃんが困るかもしれない。 ・返さないのは、ずるいな。 <p>○2人はどんなことを話しながら、夕焼けの道を帰ったと思いますか。演じてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さっきのたこ焼きよりおいしい。 ・おっちゃんもよろこんでくれてよかった。 ・正直でいると気持ちが良い。 	<p>◇次の発問に備えて、おつりが少なかったときには、自分が損をしたと思ってすぐに行動にうつしたことに着目させておく。</p> <p>◇場面絵の表情に着目させながら、たけしのすっきりしない気持ちについて考える。</p> <p>◇おつりが足りないときと多いときの気持ちを比較させることで、中心発問へとつなげていく。</p> <p>◇正直な行動を取ることの意義を、様々な見方で捉えさせる。「50円返しに行くことは、おっちゃん、弟のひろし、たけし本人にとって、どんな意味があるのかな。」と投げかけ、児童の視野が広がるようにする。</p> <p>◇自分に正直に行動できたときの心地よさや充実感を思い起こすことができるようにする。正直な行動を取ることが、自分自身の明るい心につながっているということに気が付かせる。</p>
終末	<p>3. 学習のまとめをする。</p> <p>「つなげよう」を読む。</p>	<p>※正直な心でいるとはどういうことか、正直に行動するために大切なことは何かを考えている。(ワークシート)</p>